



**santec**

# **2005年度中間期 決算概要(連結)**

**santec株式会社**

2005. 11. 07

## 第1部 2005年度中間期決算の状況

1. 経営成績
2. 業績予想との対比
3. キャッシュフロー
4. 事業別売上高
5. 所在地別売上高
6. 当期純損失圧縮の要因分析
7. 営業外損益・特別損益の要因
8. 減価償却・リースと投資の推移
9. 通期予想

## 第2部 今後の事業戦略

1. 通信市場を動かす技術とその課題
2. 世界のブロードバンド環境
3. 光受動(パッシブ)デバイス市場の推移
4. ネットワーク別の市況
5. 光通信業界における構造変化
6. 同業他社の状況
7. 重点施策 ー①
8. 重点施策 ー②
9. 重点施策 ー③

当資料におけるsantec株式会社の見通し、市場分析、戦略等の考え方は、資料作成時に入手可能な情報から経営陣が判断した考え方ではありますが、実際の業績は様々な要因によって記載の予想とは大きく異なる場合があります。

従いまして、これらの将来の戦略、市場分析、業績の見通しに関する情報につきましては、正確または有効な情報であると依拠されることはお控えくださいますよう、お願い申し上げます。

# 第1部 2005年度中間期決算の状況

# 1. 経営成績



## 売上・利益 とともに前年度より改善

(単位:百万円)

	2004年度中間	2005年度中間	増減	
売上高	745	928	182	+24.5%
売上総利益	103	274	170	+165.2%
営業利益	▲509	▲269	240	(-47.2%)
経常利益	▲514	▲281	233	(-45.3%)
当期純利益	▲511	▲285	226	(-44.3%)
総資産	(05年3月末) 8,009	7,524	▲485	-6.5%
株主資本	(05年3月末) 7,114	6,849	▲264	-3.9%
株主資本 比率(%)	(05年3月末) 88.8	91.0	-	-
一株当たり 株主資本(円)	(05年3月末) 595.91	573.76	▲22.15	-3.7%

## 2. 業績予想との対比

当初予想には及ばないながら、売上・利益ともに改善

(単位:百万円)

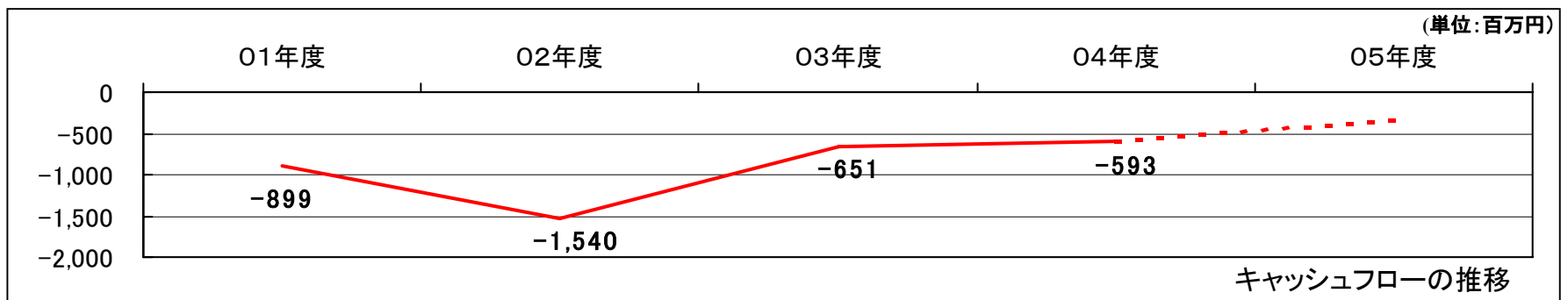
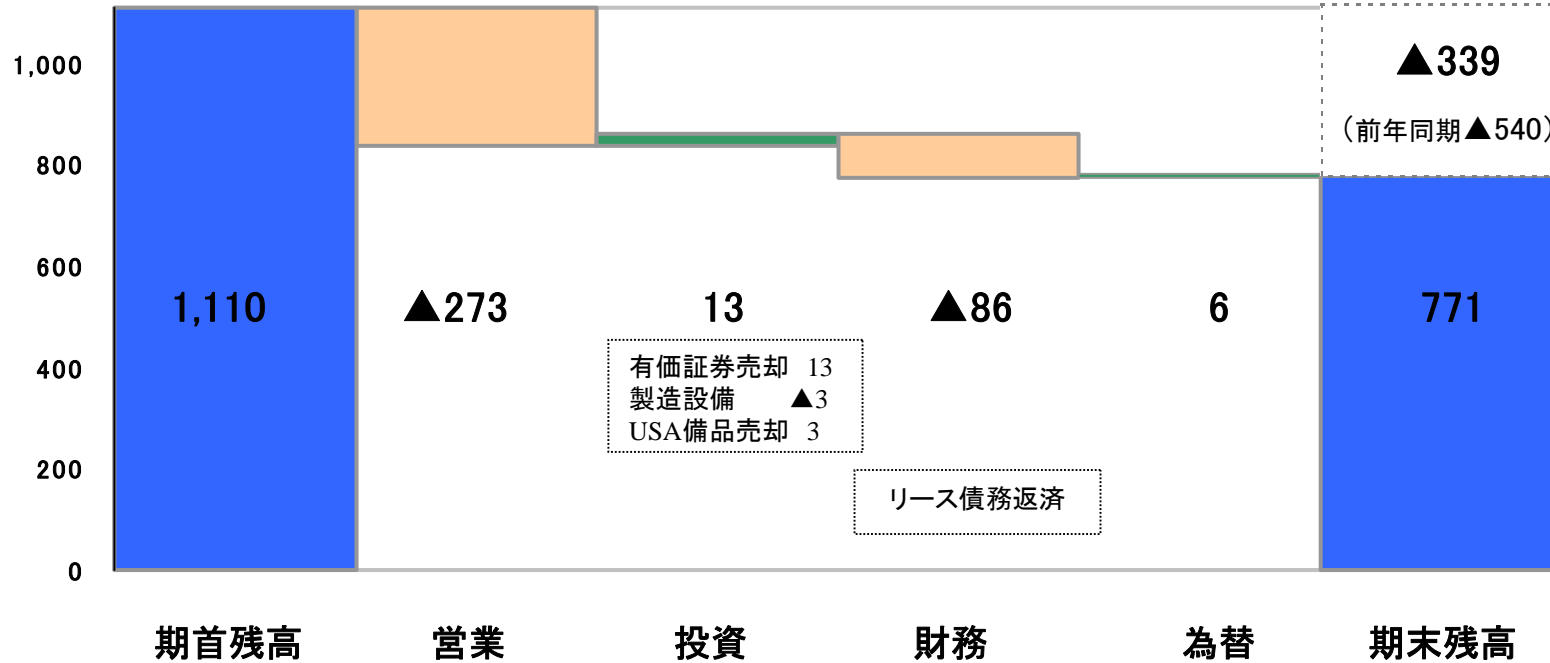
	実績		当初予想	予想差異	
	04年度中間	05年度中間	05年度中間	金額	割合
売上高	745	928	980	▲51	▲5.2%
経常利益	▲514	▲281	▲255	▲26	(-9.0%)
当期純利益	▲511	▲285	▲257	▲28	(-10.9%)

# 3. キャッシュフロー

## 黒字化ならずも改善進む

※残高について・・・保有国債697百万円分は含まれておりません。

(単位:百万円)

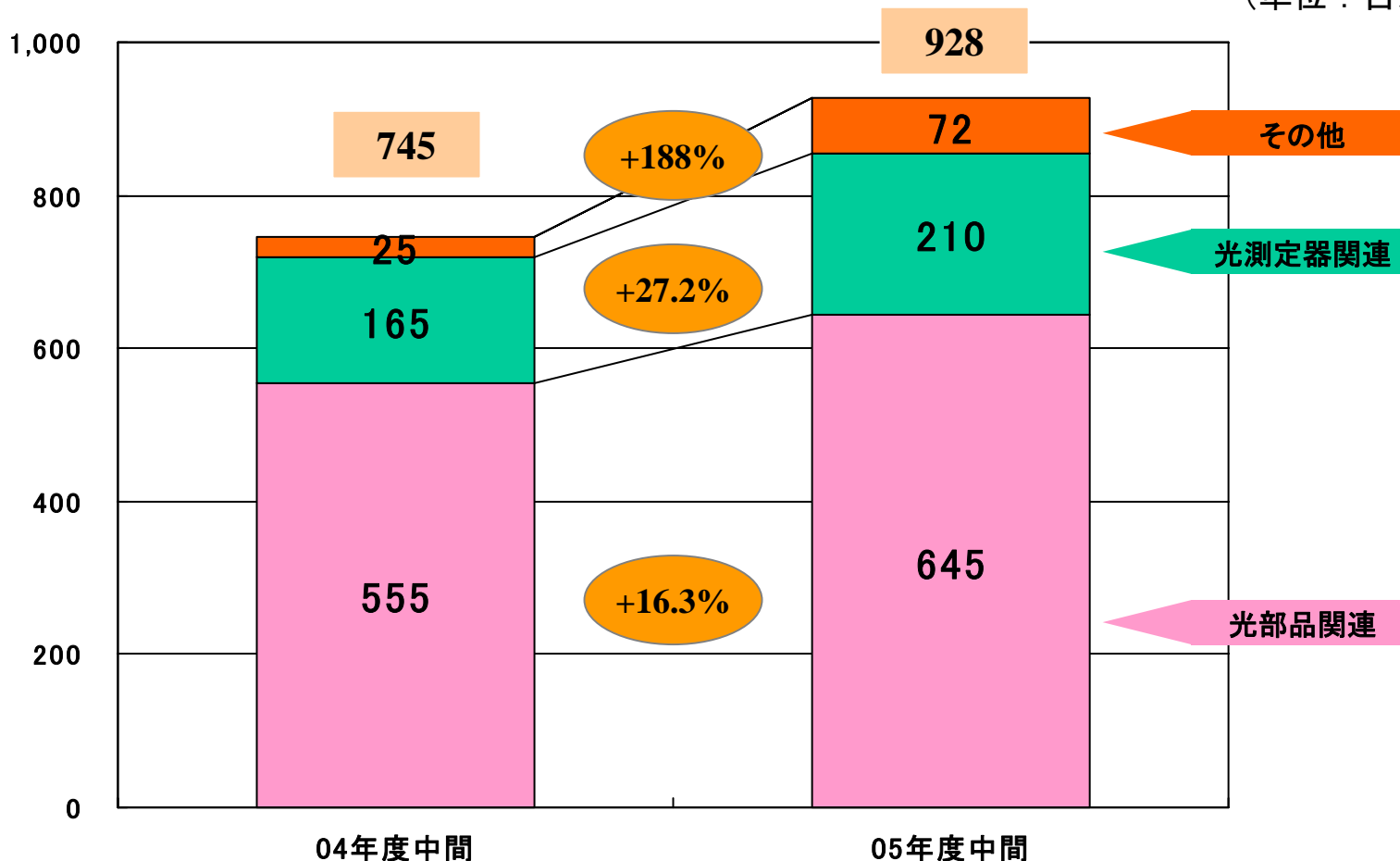


# 4. 事業別売上高

## 全事業において売上増

[中間]

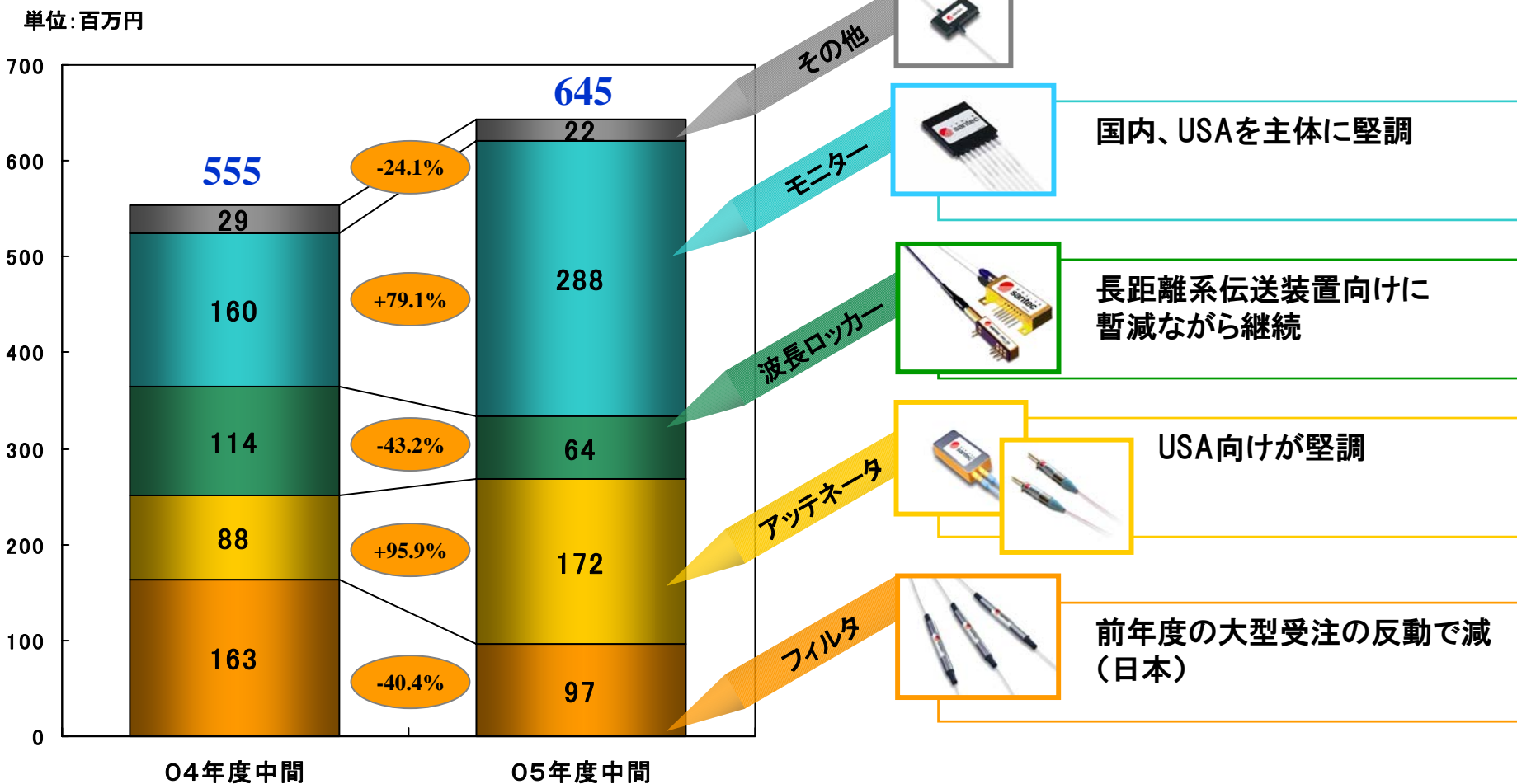
(単位：百万円)



※光測定器事業には、新分野製品UWS-1000とHSL-2000を含みます。

# 4. 事業別売上高

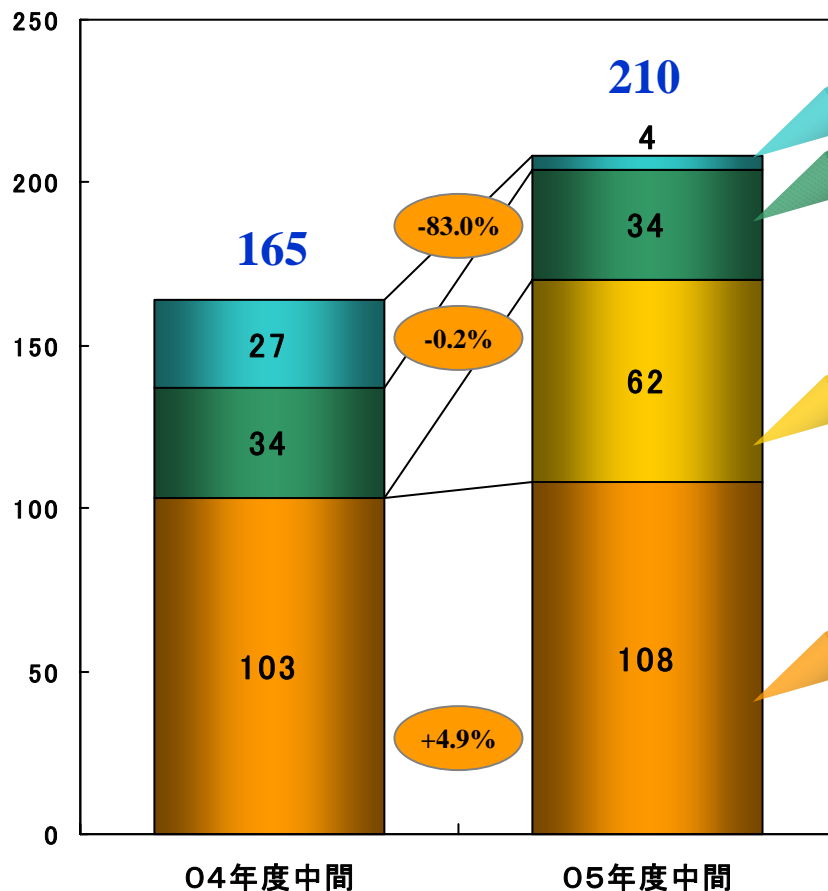
## 光部品関連事業 日本・USAを中心に堅調



# 4. 事業別売上高

## 光測定器関連事業 新市場の開拓

単位: 百万円



その他  
Instruments



新分野製品

広帯域光源(UWS-1000)など  
による新市場の開拓

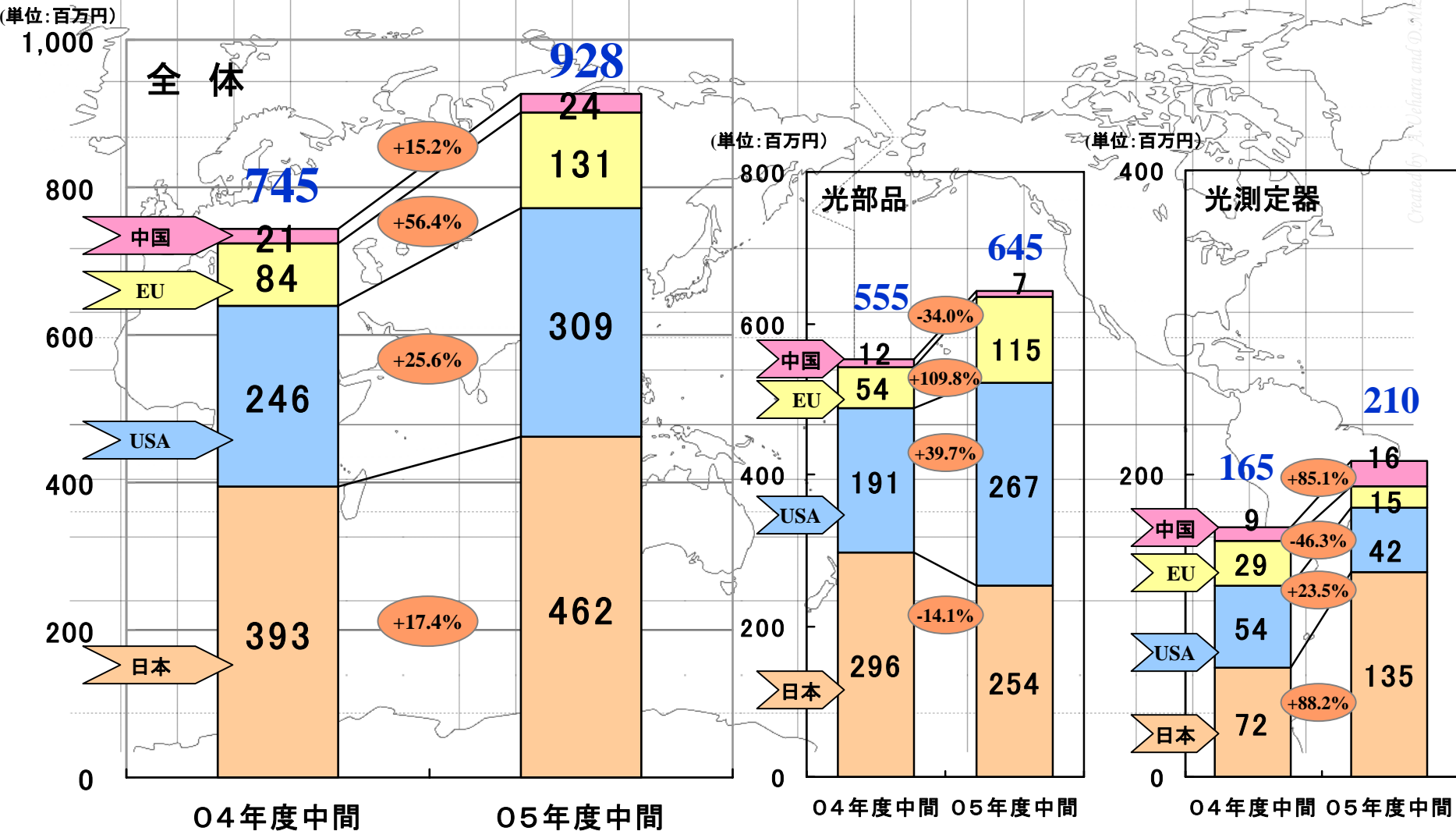


波長可変光源

新製品、高機能製品の需要が  
拡大

# 5. 所在地別売上高

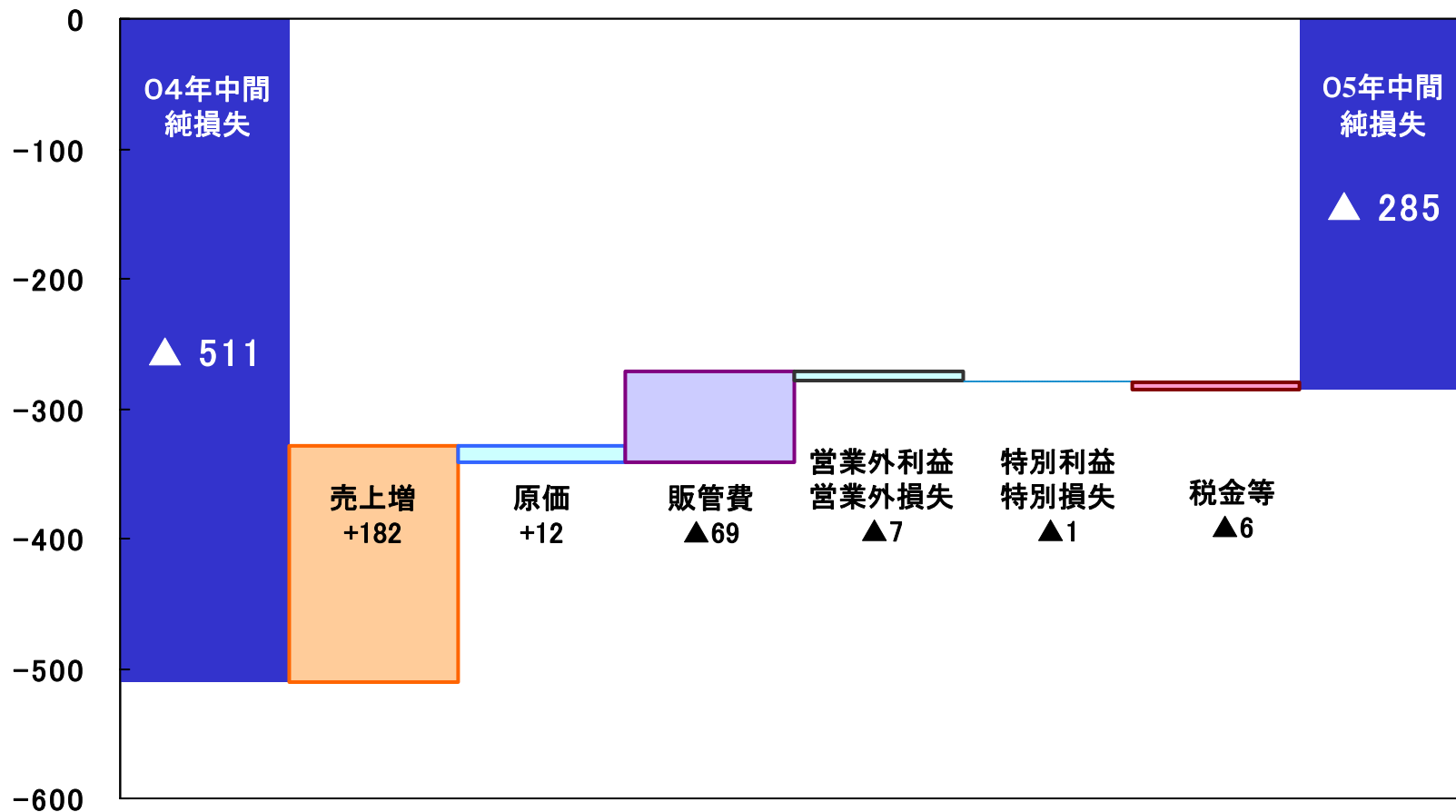
## 全地域で売上増に



# 6. 当期純損失圧縮の要因分析

原価・販管費圧縮 売上増 = 利益増へ

(単位:百万円)



# 7. 営業外損益・特別損益の要因

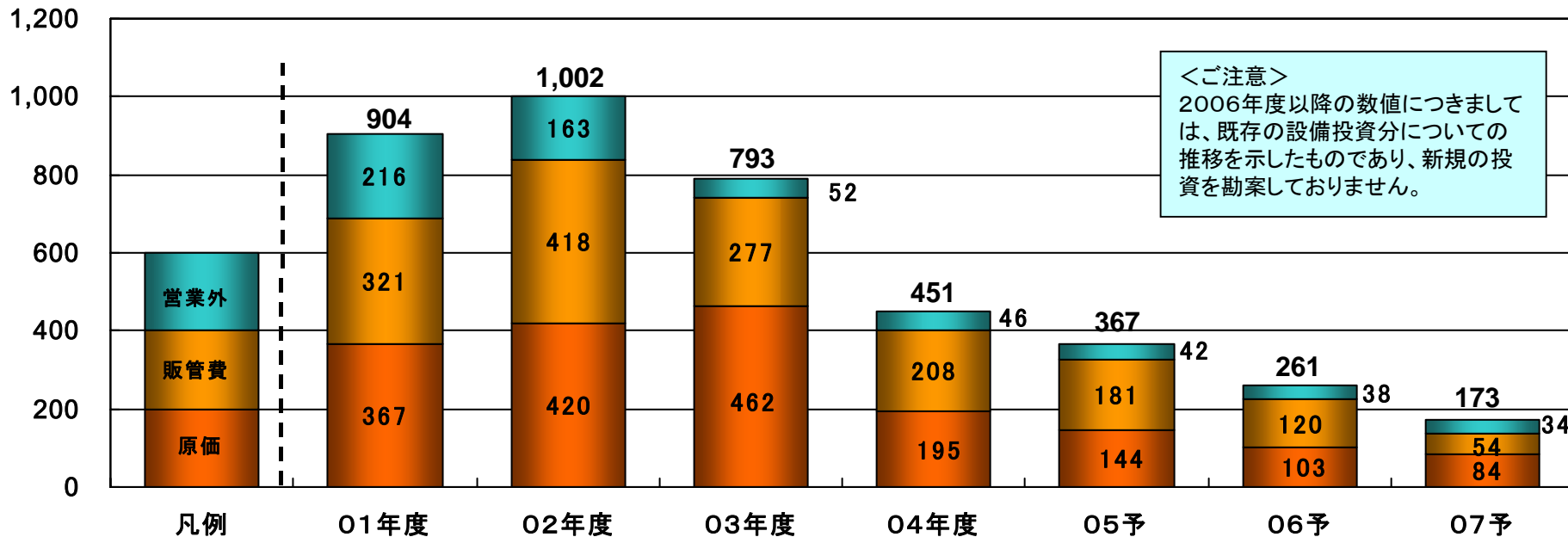
単位:百万円

		項目	
営業外損益	収益	賃貸料収入	13
		受取利息等	5
		その他	5
	費用	減価償却費	△20
		支払家賃	△5
		支払利息	△2
		その他	△7
特別損益	利益	固定資産売却益	2
		有価証券売却益	7
	損失	減損損失 (土地 瀬戸市)	△4
		商品評価損	△5
法人税等			3

# 8. 減価償却・リースと投資の推移

負担は確実に圧縮へ

単位: 百万円



＜ご注意＞  
2006年度以降の数値につきましては、既存の設備投資分についての推移を示したものであり、新規の投資を勘案しておりません。

01年度		02年度		03年度		04年度		05年度(中間)	
投資内容	投資額	投資内容	投資額	投資内容	投資額	投資内容	投資額	投資内容	投資額
本社家屋建設	1,492	本社敷地	79	製造設備	168	製造設備	28	製造設備	3
製造設備	755	製造設備	87	ERPシステム	12	業務ソフト	3	営業関連機材	3
運搬車両等	11	ERPシステム	110						
ERPシステム	182	対外投資	327						
対外投資	7								

# 9. 通期予想

## 通期予想 変更なし

(単位:百万円)

	実績		通期予想	対前年度比	
	04年度通期	05年度中間	05年度通期	金額	割合
売上高	1,773	928	2,180	406	22.9%
経常利益	▲907	▲281	▲343	564	(-62.2%)
当期純利益	▲986	▲285	▲347	639	(-64.8%)

## 第2部 今後の事業戦略

## 「デジタル化」と「統合」

### ● FMC (Fixed Mobile Convergence: 固定・移動体融合)

- 携帯電話端末と固定通信を融合するサービス
  - ◇ 自宅にいるときは携帯端末で固定通信が可能になる
- 固定・携帯の番号統一(総務省主導で実現間近)
- 高いポテンシャルを秘めつつ、具体的サービス内容は未知数

### ● TPS/QPS (Triple Play Service/Quadruple Play Service)

- 音声・データ・映像を一本の光ファイバで伝送(トリプルプレイ)
  - ◇ CATV事業者の根強い抵抗(日本)
  - ◇ 放送事業者の著作権問題が残る(日本)
  - ◇ CATV事業者主導で普及進む(北米)
- トリプルプレイに、更に一つ加えるクアドルプルプレイ
  - ◇ 具体的に加えるものは模索中

## 2. 世界のブロードバンド環境

### BB化加速 全世界的に活発

#### 日本

NTT東西 その他事業者によるFTTH化が加速

NTT 2010年に3000万世帯を目標(05年6月 340万世帯)

xDSLとの逆転が確定的に

PONを軸とした設備投資が進む

#### USA

CATV・新興による加入者争奪が激化

SBC 2008年に1800万世帯(大手3社で5年後10倍か)

トリプルプレイの本格的普及へ

#### EU

通信大手による買収、設備投資が相次ぐ

BT 2000億円かけ全網IP化へ

C&WやBskyBによるキャリアの買収

(背景グラフ 出所:総務省「情報通信白書」)

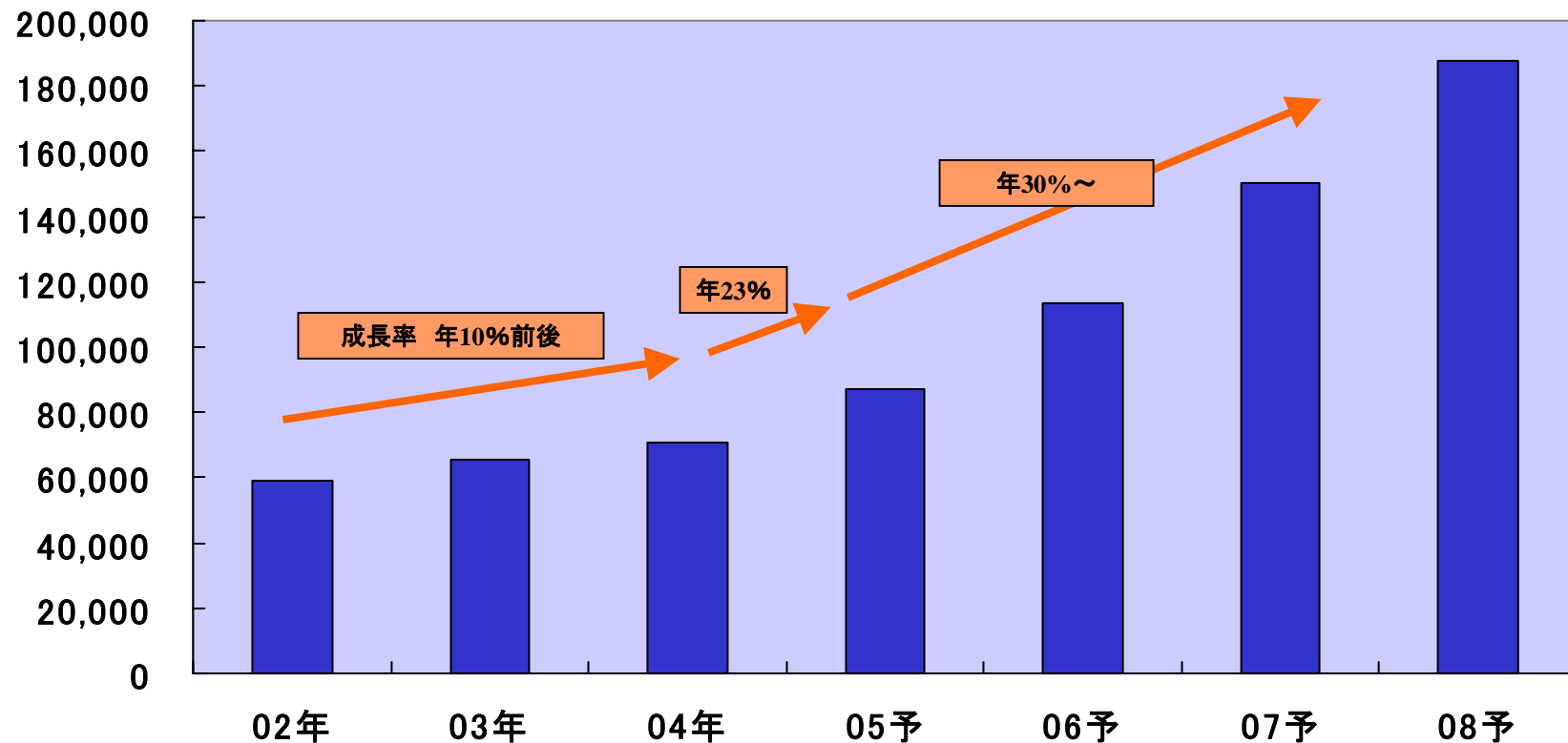
FCC「High-Speed Services for Internet Access:Status as of December 31, 2004」

より当社作成)

### 3.光受動(パッシブ)デバイス市場の推移

#### WDM需要の回復とAccess需要で明るい

単位:百万円



光パッシブデバイスには、MUX・DEMUX、光アイソレータ、光カプラ/スプリッタ、光減衰器、光通信用レンズ、光通信用誘電体多層フィルタを含む。

# 4. ネットワーク別の市況



## Long Haul

現状では、動きが少ない  
海底ケーブル投資などが動き出している  
投資は手堅く進む見通し



## Metro

浮上時期をうかがう  
安価なCWDM利用の伝送装置では動きあり  
Access系の活況を受け、トラフィック確保の投資を予想



## Access

日米では、顧客争奪戦により、投資活況  
PONを中心とした市場が好調  
FMC・TPSなど、新技術による市場牽引が期待できる

## 5. 光通信業界における構造変化

### (1) 市場回復の確かな感触

Access系、設備投資が先行。

TPSへの対応など、すばやい動きが要求される。

\* TPS: 電話、放送、データの3つを同時に提供するサービス

### (2) 領域の変化

オールマイティ型企業の減少。

主力分野でスピード・差別化・利益確保を追求。

### (3) 生産戦略の変化

アジア勢参入 技術力向上による低価格化。

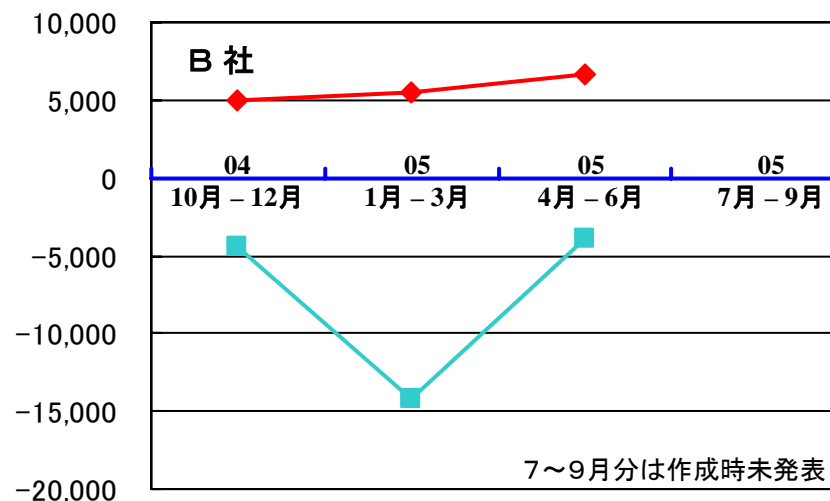
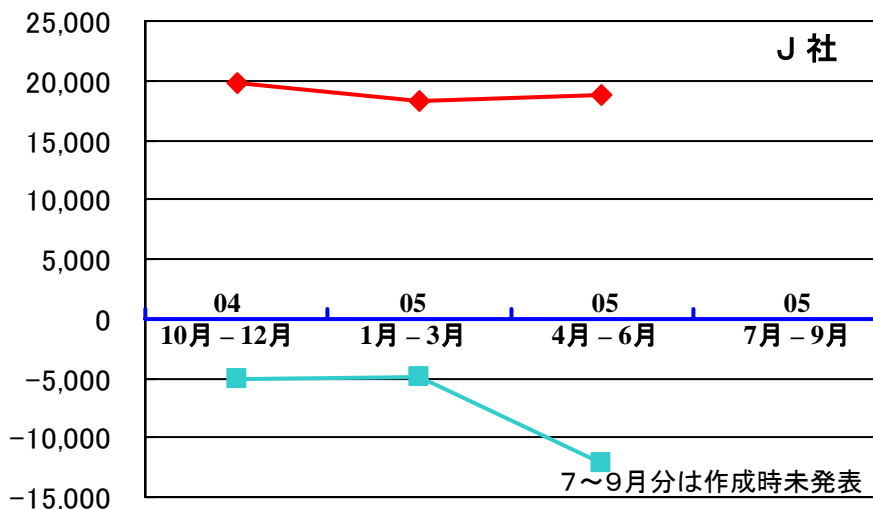
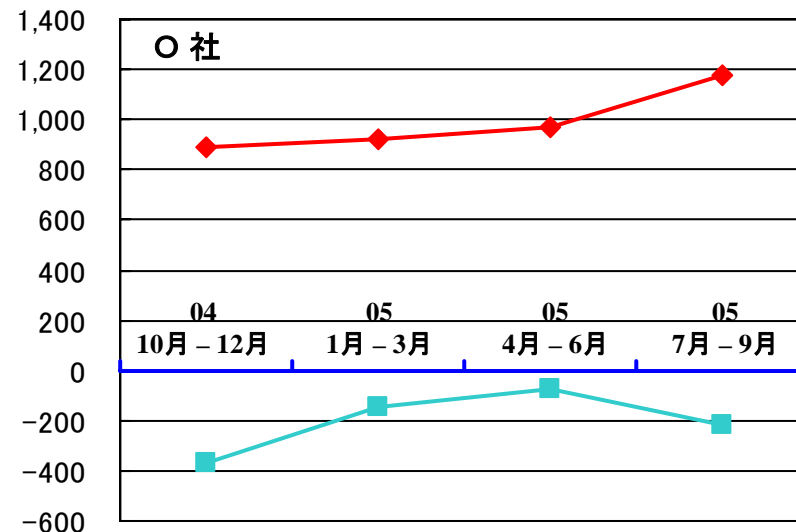
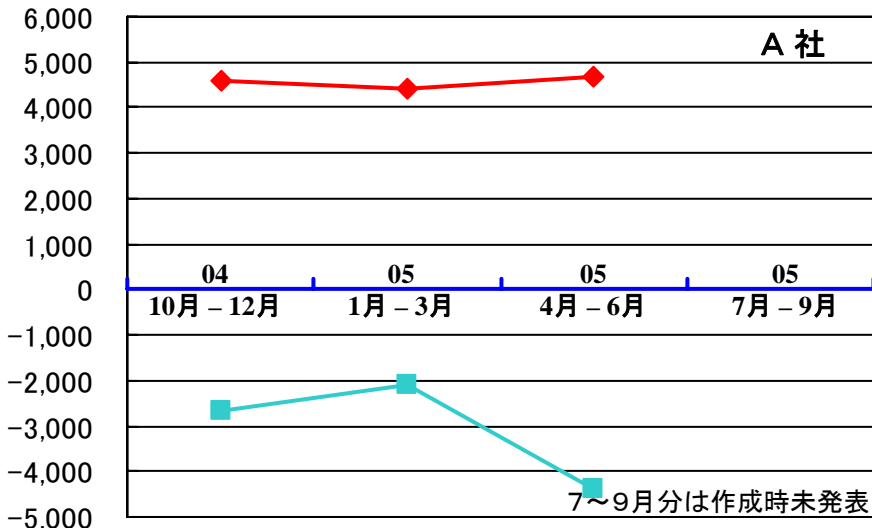
コア技術以外は中国等へ委託の流れ。

# 6. 同業他社の状況 直近1年間の四半期毎実績



基本的に 売上回復の傾向

単位:百万円  
◆ 売上高  
■ 営業利益

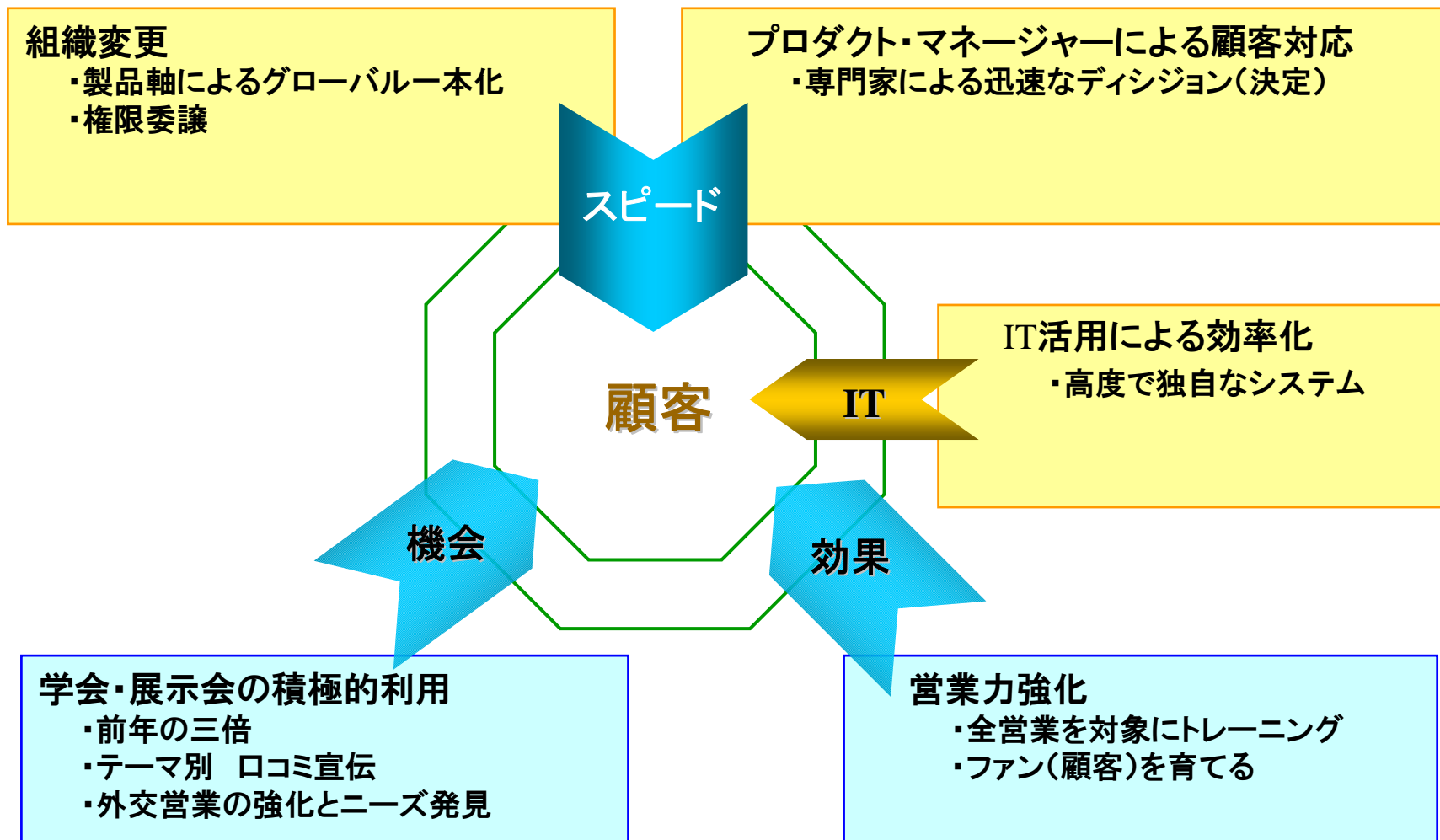


## 市場ニーズ対応 と 市場ニーズの開拓



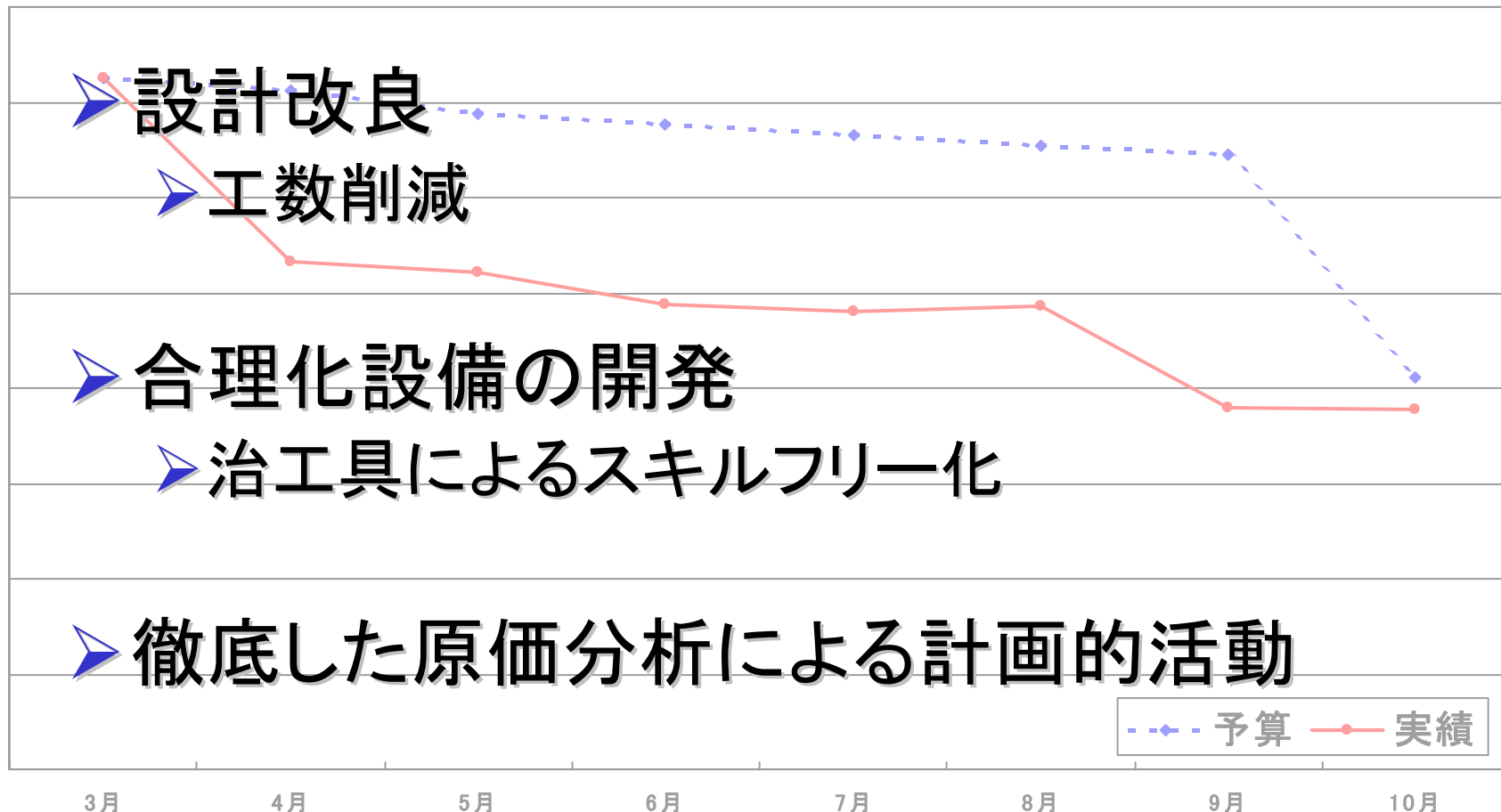
# 8. 重点施策②ー営業体制の強化

## 高効率・プロフェッショナルな営業活動



# 9. 重点施策③一原価低減への取組強化

着実な原価低減で利益回復へ



(背面のグラフ 代表的光部品における2005年度の加工費低減計画を表したもの)



**santec**

本資料に関するお問合せ先

**santec株式会社**  
IRグループ長 今城 星秀  
電話 0568-79-3535(代表)

〒485-0802  
愛知県小牧市大草年上坂5823  
フォトニクスバレー 大草キャンパス